

科目名	教職入門B		
担当教員名	羽田 邦弘		
ナンバリング			
学 科	教職課程 (N/E)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態	講義	単 位 数	2
資 格 関 係	養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

#### 実務経験の有無

有

#### 実務経験および科目との関連性

学校現場における教員経験(行政経験)のある者がその経験を活かし、教職の意義、教員の役割や職務内容などについて指導します。

#### ねらい 科目の性格 科目の概要 授業の方法(ALを含む) 到達目標 ディプロマ・ポリシーとの関係

##### 科目の性格

この科目は、教育職員免許法に定められた「教職に関する科目」のうち、「教職の意義及び教員の役割・職務内容に関する科目」として開設されます。

##### 科目の概要

「教職の意義」「教員の役割」「教員の職務内容」「チーム学校への対応」などについて、基本的な教育法規や具体的な事例等を通して様々な角度から学修し、教職の基礎的理解を深めます。

##### 授業の方法(ALを含む)

講義を中心として、ディスカッションやグループワークを取り入れた授業を行い、振り返りシートや課題レポートの提出を求めます。【討論・討議】【レポート(知識)】【レポート(表現)】

##### 到達目標

1. 教職の意義及び教員の役割や職務内容などについての理解を深めることができる。
2. 教職の意義及び教員の役割や職務内容などについて、自分で問いを立て他者と協働して考察できる。
3. 教職に対する意欲を高め、多面的な考察を通して自身の職業選択に生かすことができる。

#### 内容

1	オリエンテーション、教員の日
2	公教育の目的と教員の存在意義
3	教職の職業的特徴
4	今日の教員に求められる役割
5	今日の教員に求められる資質能力
6	教員の職務内容の全体像
7	教員研修の意義及び生涯学習の必要性
8	サービス上及び身分上の義務及び身分保障

9	学級と学級経営
10	授業の役割
11	生徒指導の役割
12	学校をめぐる法律・規則
13	チーム学校の必要性
14	教員の働き方
15	教員の生き方、まとめ

#### 各授業回における授業外学習の内容・所要時間

【事前準備】 事前に提示された課題について調べ、考察する。(60分)

【事後学修】 授業後に振り返りシート等を完成して提出する。(60分)

#### 評価方法および評価の基準

各回の振り返りシート(30%)、集団討議や事例研究などの成果物(20%)、小テスト及びまとめの試験(50%)とし、総合評価60点以上を合格とする。

【フィードバック】 提出された振り返りシート等は評価点を付けて返却し、授業の中で活用(紹介)する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 プリント等を毎回配布する。

【推薦書】 授業の中で随時紹介する。

#### 学習上の助言、教員からのメッセージ、履修上の注意点など

科目名	教育学概論 B		
担当教員名	綾井 桜子		
ナンバリング			
学 科	教職課程 (N/E)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態	講義	単 位 数	2
資 格 関 係	養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

実務経験の有無  
無

### 実務経験および科目との関連性

ねらい	科目の性格	科目の概要	授業の方法 (ALを含む)	到達目標	ディプロマ・ポリシーとの関係
-----	-------	-------	---------------	------	----------------

#### 科目の性格

本科目は、教育職員免許法施行規則に定める、中学校、高等学校教諭一種免許状取得に必要な「教育の基礎理論に関する科目」のうち、「教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想」を扱うものである。

#### 科目の概要

教職課程の基礎科目として各教科の基本となる教育の基本理念、教育の歴史や思想について学習する。また、今日の教育の動き、教育改革の進行、諸外国の教育との比較、諸外国の教育が日本の教育に与えた影響などを含め、教育についての基本的かつ幅広い理解を目指す。

#### 授業の方法

講義を中心とし、授業終盤に、当日扱った主題に関連するリアクションペーパーを記述する。これをもとに発表することもある。知識の定着をはかるために、小テストを実施することもある。また、小課題についてレポートを作成、提出する。  
【リアクションペーパー】【小テスト】【レポート(表現)】

#### 到達目標

- 1) 現在の教育がどのような経緯で成立しているのかを理解し、口頭で述べ、記述することができる。
- 2) 受講者と積極的に意見を交換し、教育についての関心を深める。
- 3) 教育について問いを立て、これについて考えることができる。そのことによって、各自の教育観の形成に役立てる。

### 内容

本授業は、講義を基本に、グループワークおよびディスカッションを取り入れながらすすめてゆく。自ら課題を設定し、課題の解決に向けて調べる学習も含む。

1	教育とは・教育の諸概念(人間形成/社会化、無意図的教育/意図的教育)
2	現代社会の教育課題(新学習指導要領と新しい資質・能力)
3	学校体系にみる教育 諸外国と日本の比較
4	中等教育(制度・青年期の教育課題)
5	学力とは PISA・「全国学力・学習状況調査」
6	近代学校の誕生 日本
7	コメニウスの教育思想 - 子どものための絵入りの教科書(『世界図絵』)
8	コメニウスの教育思想 すべての人にすべてのことを教える普遍的技法(『大教授学』)

9	ルソーの教育思想 自然の教育・事物の教育・「子どもの発見」
10	ルソーの教育思想 人間の教育（子どもの教育／青年の教育／生きることを教える）
11	ペスタロッチの教育思想 「基礎陶冶」
12	ヘルバルトの教育思想 教師のための教育学と教育的判断力
13	近代学校の誕生 西洋
14	デューイの教育思想 児童中心主義 / 『学校と社会』 / 『経験と教育』
15	総括・まとめ

#### 各授業回における授業外学習の内容・所要時間

【事前予習】教育の時事について情報を収集する。また、文部科学省のホームページ等を適宜、参照し、教育改革の施策の動向を把握する（30分）。事前に提示した課題について調べる（30分）。

【事後学修】授業で扱った教職教養の基礎概念について、理解の定着を図る（30分）。課題に指定したレポートを作成する（3時間）。

#### 評価方法および評価の基準

課題レポート60点、授業への取り組み（リアクションペーパーの内容を含む）・発表40点の合計100点とし、60点以上が合格。【フィードバック】提出されたリアクション・ペーパーについては、次回以降の授業内にて紹介し、コメントを加えるほか、質問に答える。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】授業時に指示します。

【推薦書】木村元『学校の戦後史』岩波書店、2015年

今井康雄編『教育思想史』有斐閣、2012年

【参考書】『教育思想事典』勁草書房、2000年

『教育思想事典（増補改訂版）』勁草書房、2017年

#### 学習上の助言、教員からのメッセージ、履修上の注意点など

科目名	教育心理学B		
担当教員名	綿井 雅康		
ナンバリング			
学 科	教職課程 (N/E)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態	講義	単 位 数	2
資 格 関 係	栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

#### 実務経験の有無

有

#### 実務経験および科目との関連性

教育委員会の常設委員会委員および公立小中学校の学校評議員・学校運営協議会委員としての実務経験を生かし、教師の職務遂行に必要な心理学的知見の解説と活用方法を指導する。

#### ねらい 科目の性格 科目の概要 授業の方法 (ALを含む) 到達目標 ディプロマ・ポリシーとの関係

##### 科目の性格

本科目は、教職免許課程における教職に関する科目のうちの教育の基礎理論についての理解を深める科目である。

##### 科目の概要

教職志望の初学者を主な対象として、学習の過程、および児童生徒の心身の発達について、教育心理学的な知見を学ぶとともに、学校教育現場における具体的な問題についての理解を深める。特別な支援を必要とする児童生徒の理解についても扱う。受講生は指導のもとに学修活動に取り組む学生であるが、授業では「教える」「学ばせる」「学びを支援する」という「教師の立場」から、教育活動や指導職務をとらえる視点を育むことも目指す。

##### 授業の方法 (ALを含む)

本科目は、講義による解説を中心として、リアクションペーパーおよびグループワークを取り入れた授業を行う。【リアクションペーパー】【グループワーク】

##### 到達目標

到達目標 1 . 教育心理学的な考え方や知識に基づいて、学校教育における学習活動の客観的に理解する

到達目標 2 . 教育心理学的な考え方や知識に基づいて、個々の児童生徒を理解していく手法を考える

到達目標 3 . より良い学習活動を展開するための工夫や特別な支援のあり方を、学修内容にもとづいて、具体的に作り出すことができる

#### 内容

- 1 . 教育心理学と学校教育
- 2 . 学習の動機づけ(1) 動機づけのメカニズム、内的欲求【グループワーク】
- 3 . 学習の動機づけ(2) 内発的動機づけと外発的動機づけ
- 4 . 学習の基礎理論【リアクションペーパー】
- 5 . 教授学習における学習理論
- 6 . 協同学習の理論と実践 【グループワーク】
- 7 . 学級の心理学【リアクションペーパー】
- 8 . 学習の個性化、個別的ニーズへの対応
- 9 . 教育評価【リアクションペーパー】
- 10 . 発達(1) 発達の一般的特徴、発達を規定する要因

11. 発達(2) 発達段階と発達課題
12. 学習者の特性理解(1) 知的能力の発達と測定
13. 学習者の特性理解(2) パーソナリティの理論と測定【グループワーク】
14. 学習者の特性理解(3) 障がいに応じた特別支援教育【リアクションペーパー】
15. 学習のまとめと確認

#### 各授業回における授業外学習の内容・所要時間

##### 【事前準備】

2～14回 各授業回に示された事項についてテキストを読んで概要を認識する [20分]。15回 本科目での学修を振り返り、獲得した知識や技法を適切に活用できるようにしておく [90分]。

##### 【事後学修】

1回 心理学に対する自己の素朴な認識と学修内容の差違を明確にする [20分]。2～3回 やる気を高めるの教師の取り組みや心構えを文章にまとめる [40分]。4～5回 できるようになることの仕組みを文章にまとめる [40分]。6～8回 授業運営と学級経営に重要な事項を文章にまとめる [40分]。9回 評価と指導の表裏一体の意義を文章にまとめる [40分]。10～14回 児童生徒を多面的に理解する方法を文章にまとめる [40分]。15回 本科目で学び得たものを振り返る。 [20分]

#### 評価方法および評価の基準

授業内課題（リアクションペーパーなど）への取り組み(15%)、まとめの筆記試験(85%)を総合的に評価し、60点以上を合格とする。

到達目標 1．授業内課題(5% / 15%)、まとめ試験(30% / 85%)

到達目標 2．授業内課題(5% / 15%)、まとめ試験(25% / 85%)

到達目標 3．授業内課題(5% / 15%)、まとめ試験(30% / 85%)

【フィードバック】授業内課題は授業内で全体に対してコメントする、まとめの筆記試験については必要に応じて評価結果を返却する。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 櫻井茂男（編）『改訂版・たのしく学べる最新教育心理学』 図書文化社

#### 学習上の助言、教員からのメッセージ、履修上の注意点など

科目名	特別な教育的ニーズの理解と支援 B		
担当教員名	岡本 明博、中西 郁		
ナンバリング			
学 科	教職課程 (N/E)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態	講義	単 位 数	2
資 格 関 係	養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(保健) / 中学校教諭一種免許状(国語) / 高等学校教諭一種免許状(国語) / 中学校教諭一種免許状(保健体育) / 高等学校教諭一種免許状(保健体育)		

実務経験の有無  
有

### 実務経験および科目との関連性

臨床発達心理士や児童指導員として、児童発達支援センターで障害のある児童の指導に携わった経験を持つ教員が担当し、様々な障害等により特別な支援を必要とする児童の理解と支援について事例を取り入れながら授業を行う。

ねらい	科目の性格	科目の概要	授業の方法 (ALを含む)	到達目標	ディプロマ・ポリシーとの関係
-----	-------	-------	---------------	------	----------------

#### 科目の性格

この科目は、教職の基礎理論に関する科目の1つで、教員免許状取得のための必修科目である。通常の学級に在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別な支援を必要とする生徒に対し、学習上または生活上の困難を理解し、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に対応するために必要な知識や支援方法を理解することが求められる。

#### 科目の概要

インクルーシブ教育システムの意義理解の上に、発達障害やその他様々な多様性のある児童への支援について基礎的な知識を学ぶとともに、校内支援体制や関係機関との連携について概要を学ぶ。また、特別支援学校の概要について学び、連続性のある学びの場やセンター的機能の活用について学ぶ。

#### 授業の方法 (ALを含む)

本科目は講義による授業を中心に行うが、グループによる討議を取り入れた授業を展開する【討議・討論】。

#### 到達目標

1. LD・ADHD・ASD等の発達障害や、その他の教育的ニーズをもつ児童について説明することができる。
2. 支援に当たっての校内支援体制の構築や関係機関との連携について説明することができる。
3. 特別支援学校の概要を理解し、交流及び共同学習の推進やセンター的機能の活用について説明することができる。

#### ディプロマ・ポリシーとの関係

- 5 指導法の工夫、
- 4 子どもの理解

### 内容

講義のみならず、発達障害等の心理的疑似探検等の演習やグループディスカッションなどを行い、学生同士が対話的・主体的な学びを通して、特別な教育的ニーズについて学びを深めていけるよう授業を展開する。

1	今、学校では ~インクルーシブ教育システムと合理的配慮~ (岡本)
2	学習障害の理解と支援 (岡本)【討議・討論】

3	注意欠陥多動性障害の理解と支援（岡本）【討議・討論】
4	自閉症の理解と支援（岡本）【討議・討論】
5	情緒障害の理解と支援（岡本）【討議・討論】
6	軽度知的障害の理解と支援（岡本）【討議・討論】
7	言語の違い、貧困、LGBT等の理解と支援（岡本）【討議・討論】
8	小・中学校における校内支援体制と連携システム（岡本）
9	特別支援学級・通級による指導と自立活動（岡本）
10	保健・福祉・医療機関等との連携（岡本）
11	個別の教育支援計画・個別の指導計画（岡本）
12	特別支援学校教育の実際 ～特別支援学校に学ぶ子どもたちの理解と支援～（中西）
13	特別支援学校教育の実際 ～特別支援学校との連携とセンター的機能～（中西）
14	アセスメントの基礎（岡本）
15	自己理解と自己支援力の育成、まとめ（岡本）

#### 各授業回における授業外学習の内容・所要時間

【事前準備】事前に配付資料・教科書・推薦書等によって、各障害の定義・特徴・支援方法を調べ、疑問点を整理しておく。（各授業に対し60分）

【事後学習】授業内容については復習を必須とし、配付資料等をもとに理解が深められるようにするとともに、ボランティア等において学修内容を役立てる。（各授業60分）

#### 評価方法および評価の基準

授業への参加態度と毎回の小レポート50%、レポート試験50%とし、総合評価60点以上を合格とする。

到達目標1．小レポート（20%/50%）、レポート試験（20%/50%）

到達目標2．小レポート（15%/50%）、レポート試験（15%/50%）

到達目標3．小レポート（15%/50%）、レポート試験（15%/50%）

【フィードバック】 毎授業の最初に小レポートへのコメントや返答をし、学習理解を深められるようにする。レポート試験後にポイントについて授業で解説する。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業で使用する資料のパワーポイントデータを授業用フォルダに格納するので、各自プリントアウトするかデータを閲覧できるノートパソコンを持参すること。

【教科書】「中学校学習指導要領（平成29年3月告示）」「同解説総則編」文部科学省

高等学校教諭免許取得者は「高等学校学習指導要領（平成30年告示）」「同解説総則編」文部科学省も準備

【推薦書】「特別支援学校学習指導要領（平成29年4月告示）」「同解説・自立活動編」文部科学省

「改訂第3版 障害に応じた通級による指導の手引き-解説とQ&A-」文部科学省

#### 学習上の助言、教員からのメッセージ、履修上の注意点など



科目名	学校制度論 B		
担当教員名	星野 敦子、狩野 浩二		
ナンバリング			
学 科	教職課程 (N/E)		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態	講義	単 位 数	2
資 格 関 係	養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 栄養教諭二種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (保健) / 中学校教諭一種免許状 (国語) / 高等学校教諭一種免許状 (国語) / 中学校教諭一種免許状 (保健体育) / 高等学校教諭一種免許状 (保健体育)		

#### 実務経験の有無

無し

#### 実務経験および科目との関連性

無し

#### ねらい 科目の性格 科目の概要 授業の方法 (ALを含む) 到達目標 ディプロマ・ポリシーとの関係

##### 科目の性格

教員免許状取得のための必修科目であり、「教職に関する科目」の中の「教育の基礎理論に関する科目」として位置づけられている。内容として教育に関する社会的、制度的または経営的事項を含む。

##### 科目の概要

教育制度の基本原則、教育行政制度の歴史的変遷についての理解を深め、教育基本法改正の意義について考える。さらに新教育基本法ならびに主要な教育関連法規に関わる諸問題について、具体的判例に基づいて学ぶ。

##### 授業の方法 (ALを含む)

教材や課題はLive Campusで提示する。一部のテーマについてグループ討議を経て発表を行う【討議・討論】【グループワーク】【プレゼンテーション】

##### 学修目標 (= 到達目標)

- ・我が国及び諸外国の教育制度の在り方について理解することができる
- ・我が国の教育行政制度の成立過程ならびに現行制度について理解することができる
- ・学校教育制度・教育行政制度に関わる法規の概要とその運用について理解することができる

##### ディプロマ・ポリシーとの関係

-2 使命・職務の理解、職責を果たす姿勢

#### 内容

1	教育制度とは何か
2	教育制度と学校体系
3	我が国の学校制度
4	諸外国の学校制度

5	憲法・教育基本法と戦後教育の基本原理
6	教育行政制度（中央教育行政組織と地方教育行政組織）
7	学校制度と児童生徒（1）就学・初等中等教育
8	学校制度と児童生徒（2）懲戒・学校事故
9	学校制度と教員・校長（1）職務・任用
10	学校制度と教員・校長（2）服務・懲戒
11	学校制度と教員・校長（3）研修・その他
12	学校制度と教育課程（学習指導要領・教科書）
13	学校評価の意義と課題
14	教育制度をめぐる今日的課題
15	まとめ

#### 各授業回における授業外学習の内容・所要時間

【事前準備】テキストの授業予定単元の予習（60分）

【事後学修】新聞記事の中から教育にかかわるものを探し考察（60分）

#### 評価方法および評価の基準

1 授業ごとの課題提出（30％）      2 最終試験の達成度（70％）

とし、総合評価60点以上を合格とする。

- ・我が国及び諸外国の教育制度の在り方について理解することができる（30％）
- ・我が国の教育行政制度の成立過程ならびに現行制度について理解することができる（30％）
- ・学校教育制度・教育行政制度に関わる法規の概要とその運用について理解することができる（40％）

#### 【フィードバック】

課題のチェックと返却

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に指定しない

#### 学習上の助言、教員からのメッセージ、履修上の注意点など